

第2章

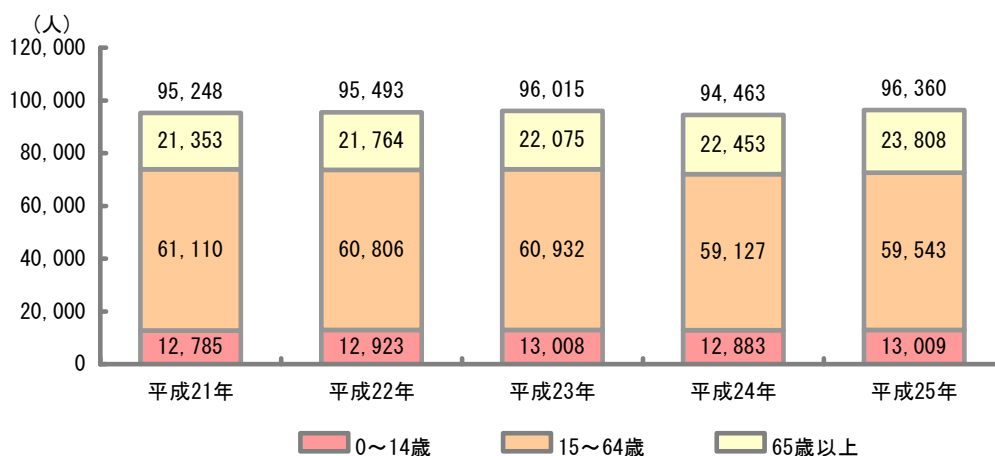
子ども・若者を取り巻く状況

1 芦屋市の人口の動向

(1) 芦屋市の人口の推移

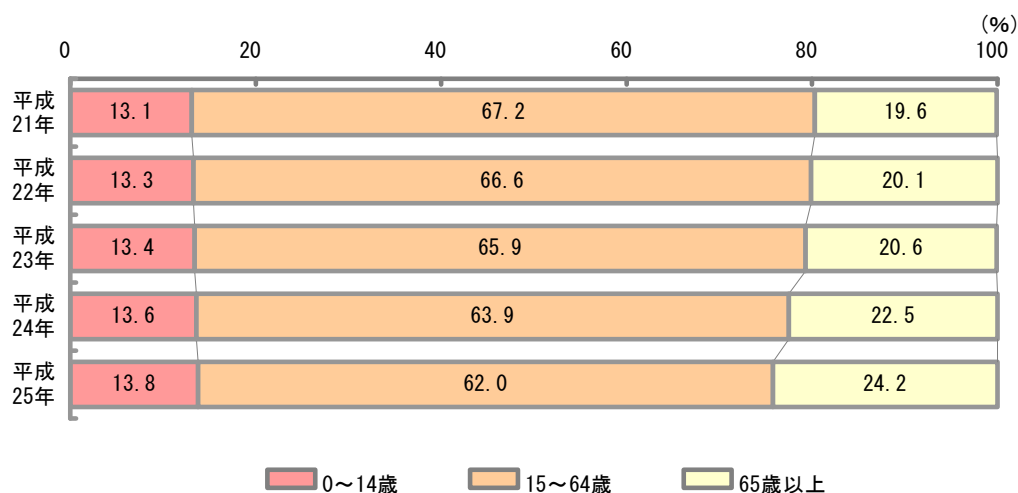
人口の推移をみると、平成24年で一度減少したものの近年5年間で増加傾向にあります。0～14歳の年少人口は約13,000人で横ばいです。

【 芦屋市の人口の推移 】



資料：住民基本台帳（各年4月1日現在 平成21～平成24は外国人人口を加味）

【 芦屋市年齢3区分別人口の推移 】

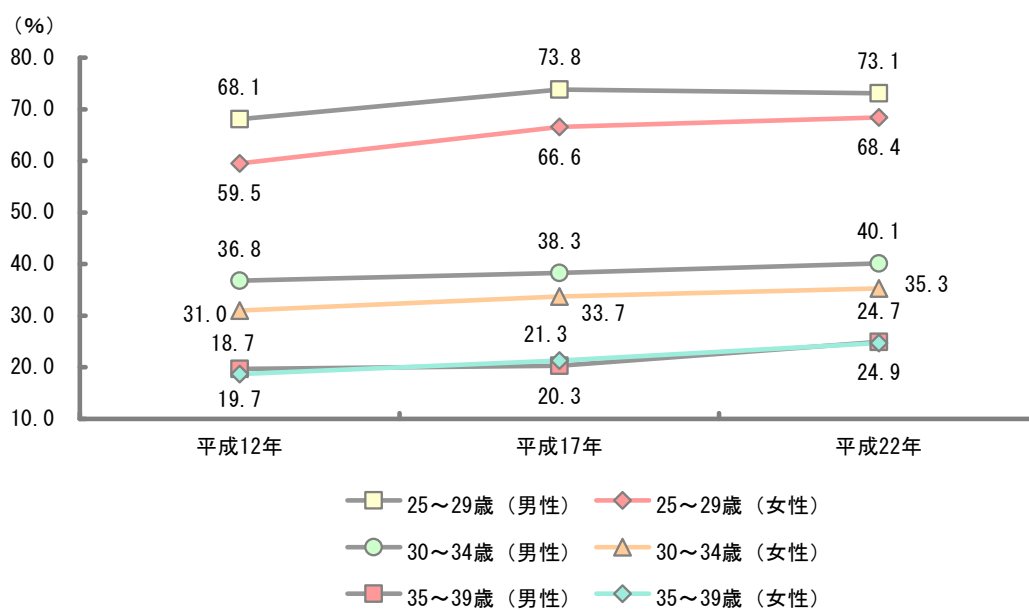


資料：住民基本台帳（各年4月1日現在 平成21～平成24は外国人人口を加味）

(2) 若者の未婚率の状況

未婚率の推移をみると、若者の未婚率が上昇傾向にあります。男女別でみると、おおむね男性の未婚率が女性より高くなっています。平成22年の30歳代後半の未婚率をみると、男女とも約4分の1が未婚となっています。

【 芦屋市の若者未婚率の推移 】



資料：国勢調査

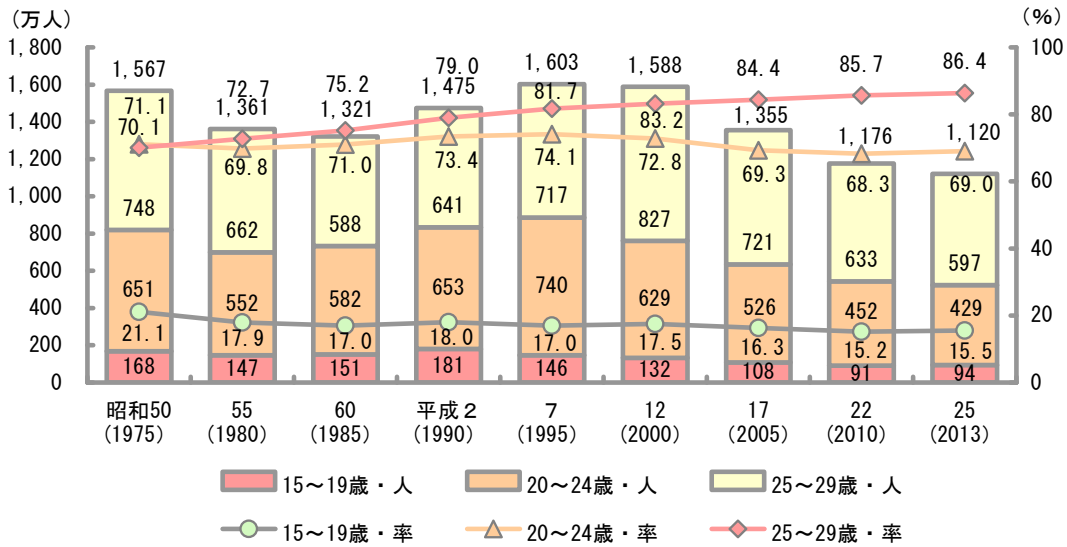
2 就労等の状況

(1) 若者の就労を取り巻く状況

① 国における状況

我が国の労働力人口の減少は続いています。労働力率は15～19歳と20～24歳では減少傾向にあり、25～29歳では増加傾向にあります。

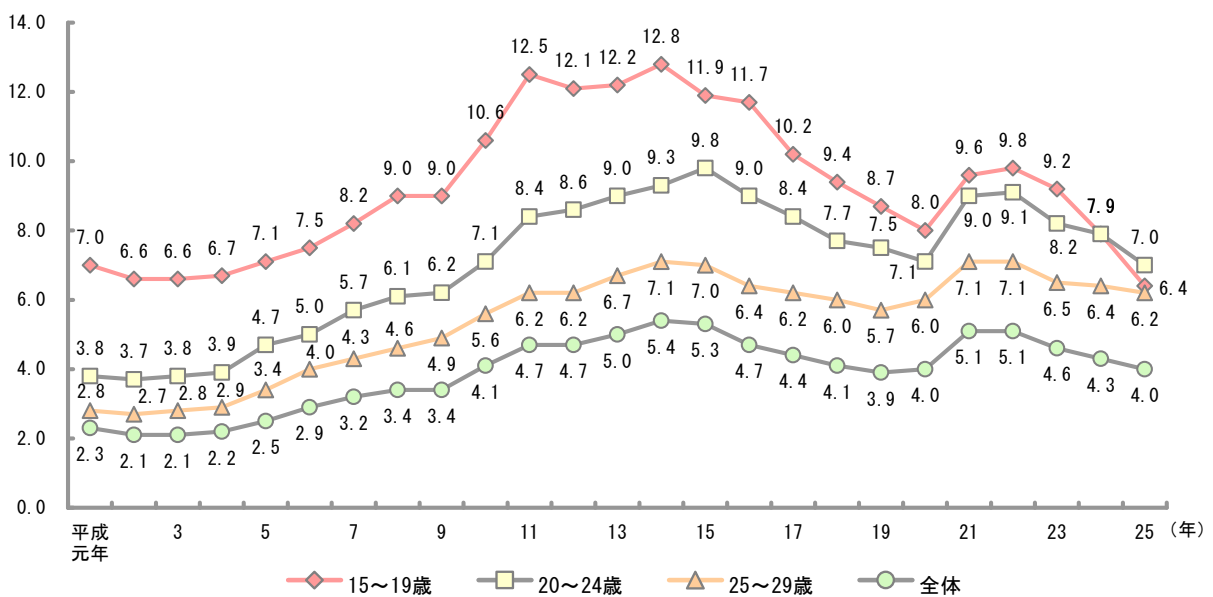
【 国の労働力人口と労働力率の推移 】



資料：総務省「労働力調査」

若者の失業率の推移をみると、全体平均に比べ高い割合を維持しながら推移していることが示されています。

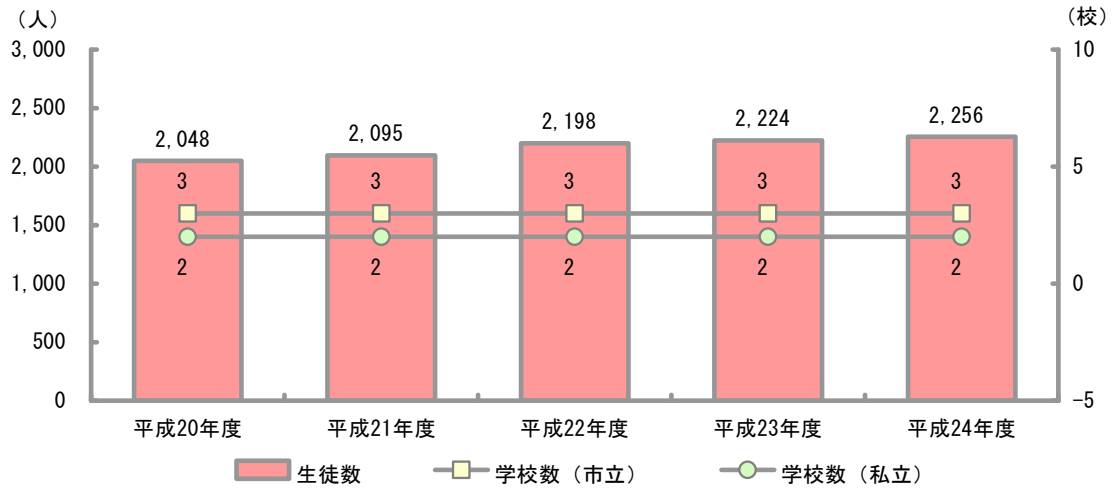
【 若者の失業率の推移 】



② 芦屋市の中学校の状況

本市の中学校の生徒数，学校数の推移をみると，生徒数は平成20年度から平成24年度の近年5年間で，200人以上増加しています。学校数は近年5年間変化ありません。

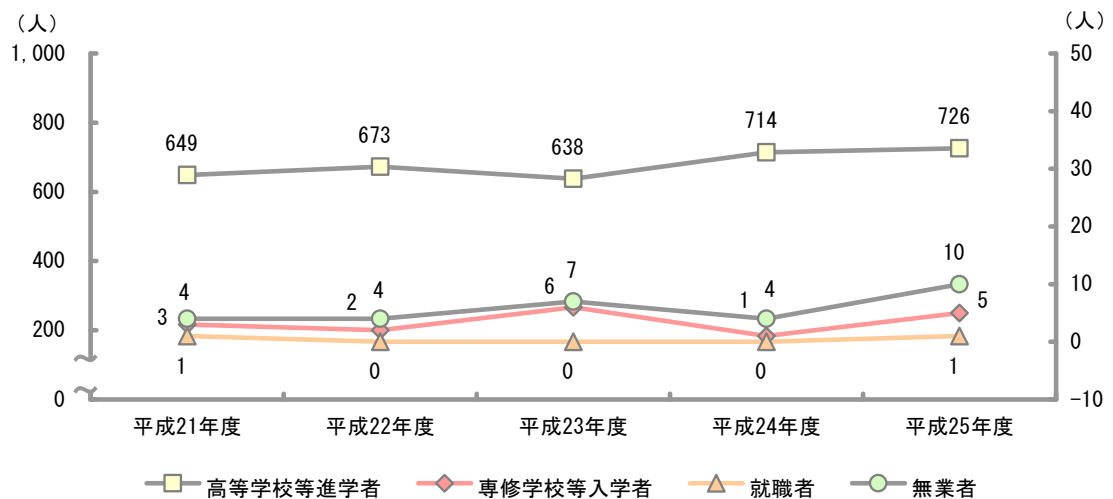
【 中学校の生徒数，学校数の推移 】



資料：生徒数（学校基本調査），学校数（教育行政要覧）

本市の進路別卒業生数の推移をみると，高等学校等進学者は増加傾向にあります。平成21年度に4人であった無業者が，平成25年では10人に増加しています。

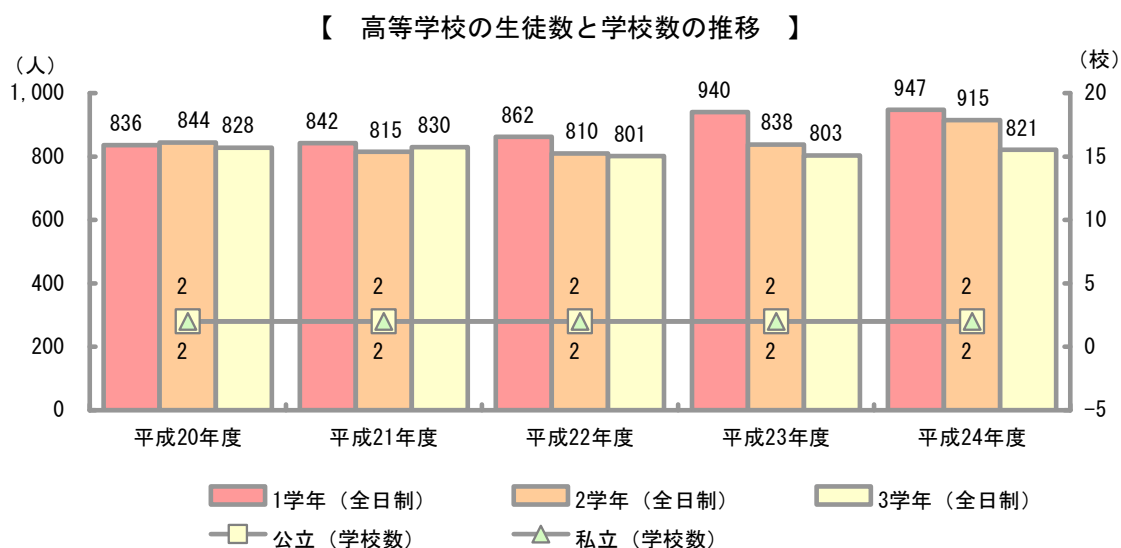
【 進路別卒業生数の推移 】



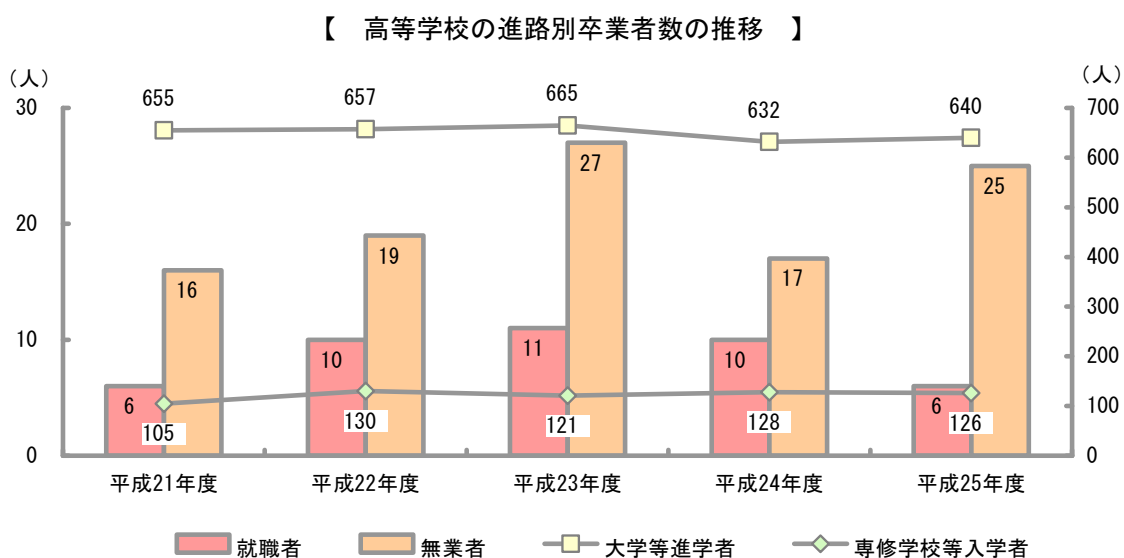
資料：学校基本調査

③ 高等学校の状況

本市の高等学校の生徒数と学校数の推移をみると、平成20年度では1学年から3学年まで、おおむね生徒数が同じに対し、平成24年度では1学年と3学年で120人以上の差があります。1学年（全日制）の生徒数が、学年が高くなるにつれ減少して行くと考えられます。学校数は近年5年間変化ありません。



高等学校の進路別卒業生数の推移をみると、大学等進学者数、専修学校等入学者数はおおむね横ばいです。就職者数、無業者数共に大幅な増減はありませんが、平成25年度で就職者に対して無業者が4倍となっています。



3 ひきこもり，ニート，不登校等の状況

(1) 全国におけるひきこもりの状況

平成 22 年に内閣府による「ひきこもりに関する実態調査」が行われ，全国の 15～39 歳までの子ども・若者の 1.79%，約 69 万 6 千人がひきこもり状態にあると推計されました。ひきこもりは男性が 66%を占め，年齢別では 10 代 15%，20 代 39%，30 代 46%の割合であり，その期間は 6 ヶ月以上 3 年未満が 54.2%，7 年以上という人も 16.9%あるという調査結果をまとめています。

● ひきこもりの若者は，全国で約 70 万人と推計されています

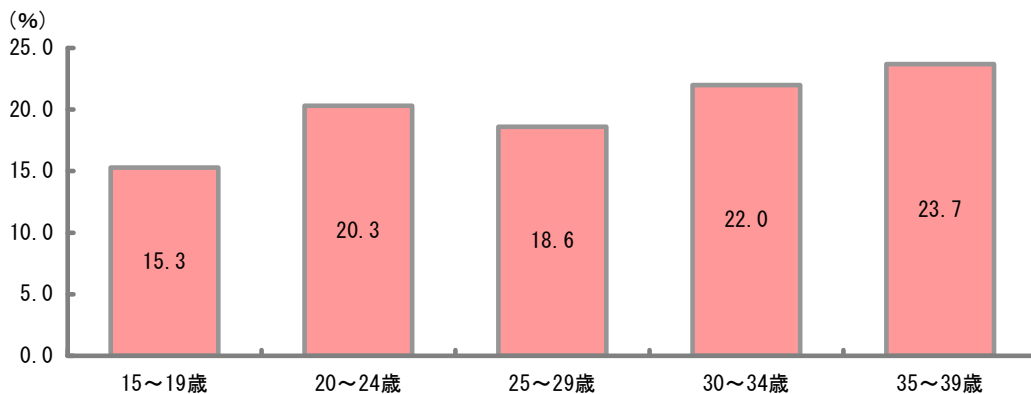
(平成 22 年内閣府「若者の意識に関する調査（ひきこもりに関する実態調査）報告書」)

【 ひきこもりの子ども・若者 】

区 分		推計数	有効回収率に占める割合	
広義のひきこもり	狭義のひきこもり	23.6 万人	0.61%	・ 自室からほとんど出ない ・ 自室からは出るが，家からは出ない ・ ふだんは家にいるが，近所のコンビニなどには出かける
	準ひきこもり	46.0 万人	1.19%	・ ふだんは家にいるが，自分の趣味に関する用事のみだけ外出する
	合 計	69.6 万人	1.79%	
ひきこもり親和群		155 万人	3.99%	・ 家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかる ・ 自分も，家や自室に閉じこもりたいと思うことがある ・ 嫌な出来事があると，外に出たくなる ・ 理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方ないと思う

※ 内閣府「ひきこもりに関する実態調査」平成 22 年 2 月調査 15～39 歳 5,000 人対象，有効回収率 65.7%
ただし，※現在の状態になって 6 ヶ月以上の者のみ

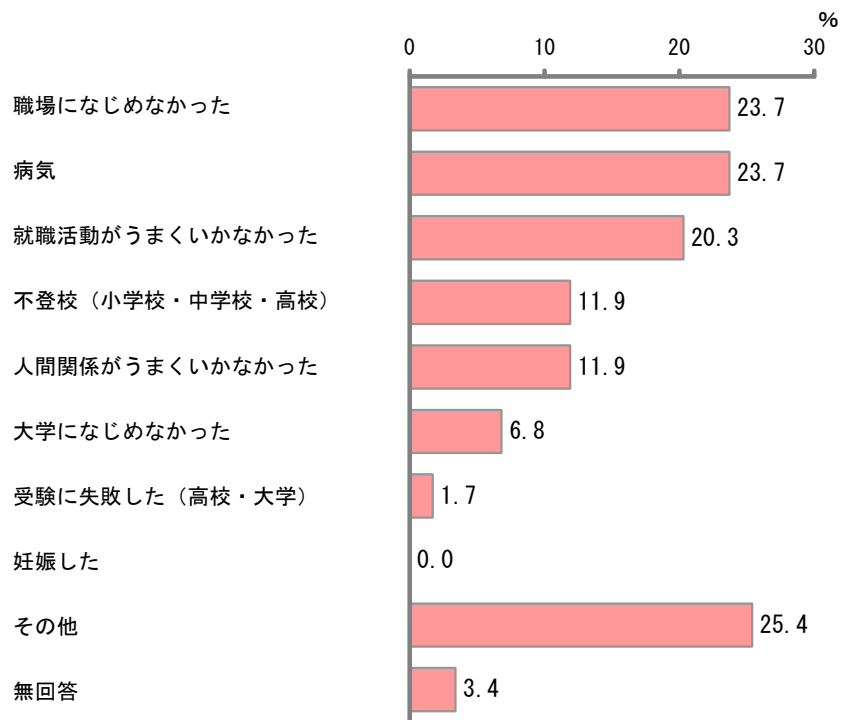
【 ひきこもり群の年齢別割合 】



資料：平成 22 年内閣府「若者の意識に関する調査（ひきこもりに関する実態調査）報告書

ひきこもりになったきっかけは、仕事や就職に関するものが多く、職場や大学になじめなかった、人間関係がうまくいかなかったなど、人との関わりに問題を持つ理由が多くみられます。

【 ひきこもりの理由 】



資料：内閣府（2010）「若者の意義に関する調査（引きこもりに関する実態調査）」

(2) 若年無業者等の状況

若年人口の減少にもかかわらず、フリーター、ニートの若者の数は依然として高い水準にあります。

※ フリーター：15～34歳で、男性は卒業者、女性は卒業者で未婚の者とし、次の①～③を合計したもの。

①雇用者のうち勤め先における呼称が「パート」又は「アルバイト」である者

②完全失業者のうち探している仕事の形態が「パート・アルバイト」の者

③非労働力人口のうち希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」で、家事・通学等していない者

※ ニート：15～34歳で、非労働力人口のうち、家事も通学もしていない者

【 兵庫県、芦屋市における若年無業者数（推計値） 】

	平成24年住民基本台帳年齢別人口（市区町村別）						若年無業者割合②	ニート数（人）③
	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	15～39歳計①		
兵庫県								
芦屋市								

＜算出方法＞

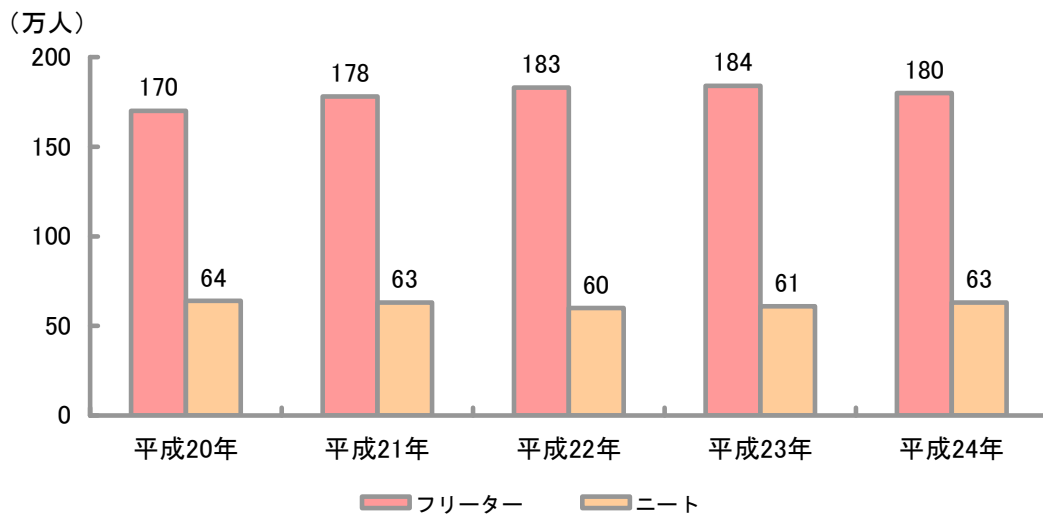
厚生労働省「平成23年度地域若者サポートステーション企画書募集要領」における方法による

$\text{ニート数③} = \text{15歳以上39歳以下の人口①} \times \text{若年無業者割合②}$

①（総務省自治行政局）平成24年3月31日住民基本台帳年齢別人口（市区町村別）

②（総務省雇用失業統計研究会資料）都道府県別若年無業者数及び割合（就業構造基本調査-平成14年、19年）

【 フリーター・ニート数の推移（全国） 】



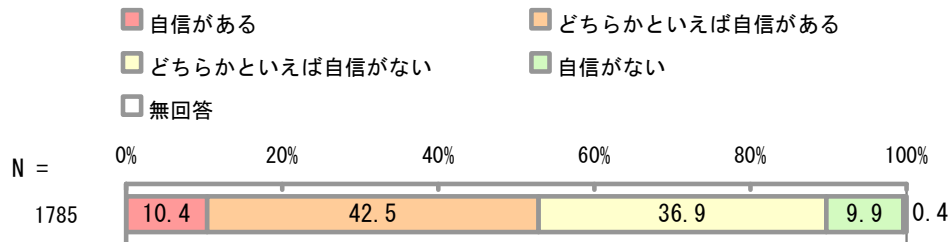
資料：労働力調査（総務省統計局）

4 調査からみる子ども・若者の意識実態について

(1) アンケート調査

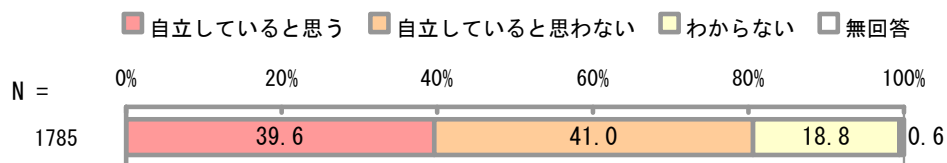
① 自分に自信がありますか。

「自信がある」と「どちらかといえば自信がある」をあわせた“自信がある”の割合 52.9%, 「どちらかといえば自信がない」と「自信がない」をあわせた“自信がない”の割合が 46.8%となっています。



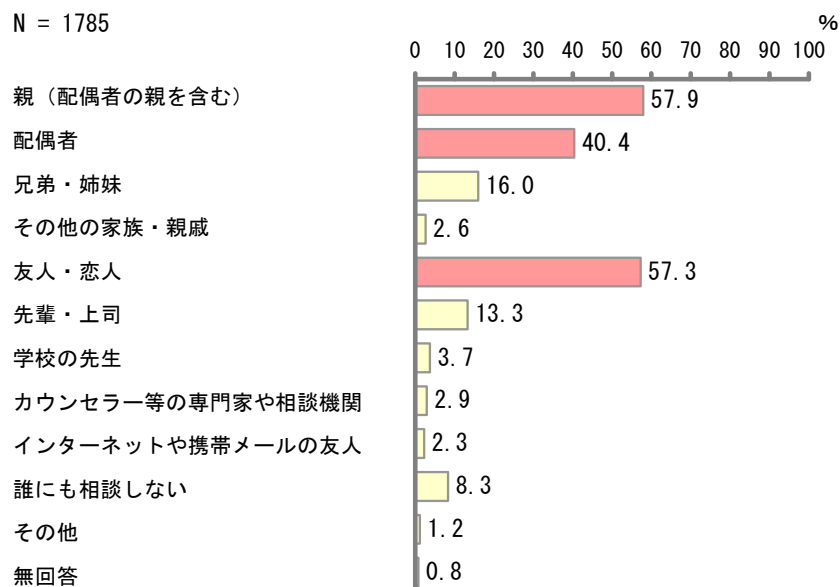
② あなたは、自分が自立していると思いますか。

「自立していると思わない」の割合が 41.0%と最も高く、次いで「自立していると思う」の割合が 39.6%, 「わからない」の割合が 18.8%となっています。



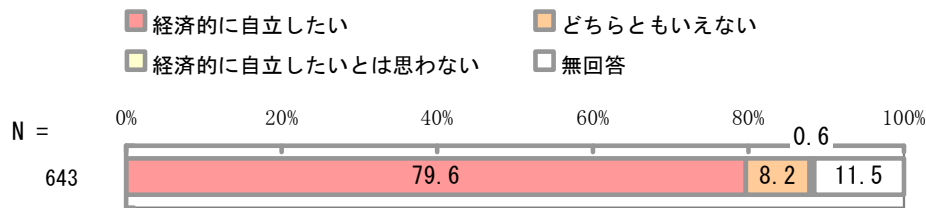
③ 悩みや心配ごとがあった場合、あなたは誰に相談しますか。

「親（配偶者の親を含む）」の割合が 57.9%と最も高く、次いで「友人・恋人」の割合が 57.3%, 「配偶者」の割合が 40.4%となっています。



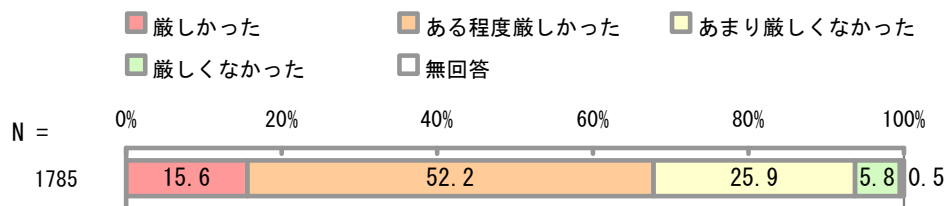
④ 将来、経済的に自立したいと思いますか。

「経済的に自立したい」の割合が79.6%と最も高くなっています。

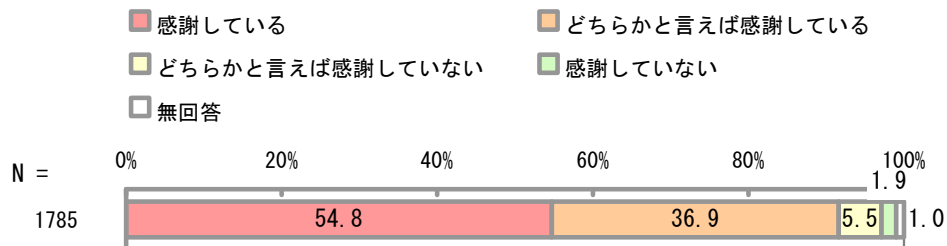


⑤ あなたの受けた家庭のしつけはどの程度ですか。

「ある程度厳しかった」の割合が52.2%と最も高く、次いで「あまり厳しくなかった」の割合が25.9%、「厳しかった」の割合が15.6%となっています。

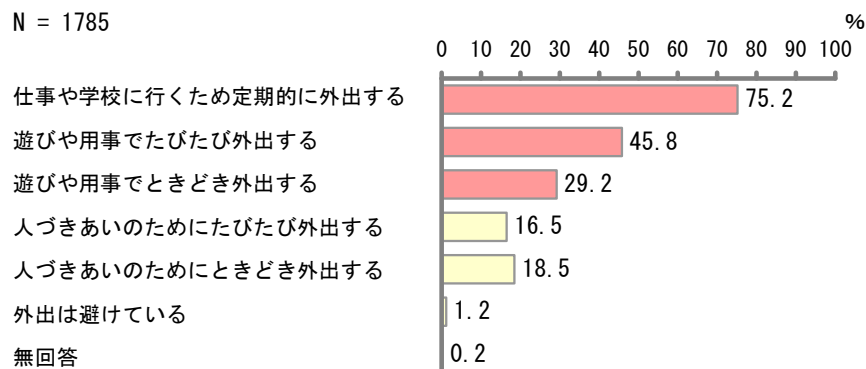


⑥ あなたはしつけをどう受け止めていますか。



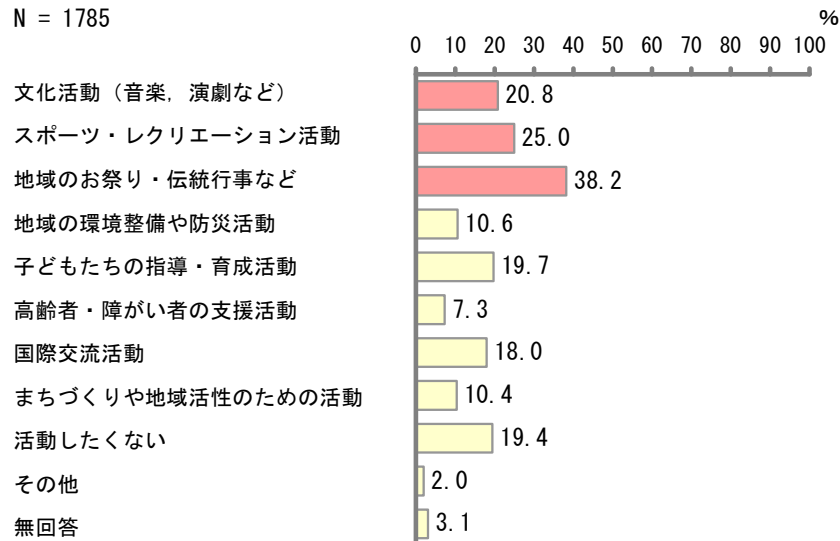
⑦ あなたは普段どの程度外出しますか。

「仕事や学校に行くため定期的外出する」の割合が75.2%と最も高く、次いで「遊びや用事でたびたび外出する」の割合が45.8%、「遊びや用事でときどき外出する」の割合が29.2%となっています。



⑧ 今後、地域社会で参加したいものはありますか。

「地域のお祭り・伝統行事など」の割合が38.2%と最も高く、次いで「スポーツ・レクリエーション活動」の割合が25.0%、「文化活動（音楽、演劇など）」の割合が20.8%となっています。



⑨ あなたは、若者向けにどんな場所が、もっと芦屋市にあればよいと思いますか。

「思いっきり身体を動かせる場所」の割合が59.5%と最も高く、次いで「友人と気軽におしゃべりできる場所」の割合が36.4%、「静かに勉強したり本が読める場所」の割合が33.4%となっています。

